

# つるぎ町一字地域のザトウムシ

クモ・貝類班 (徳島博物同好会)

富島 啓次\*

要旨：一字地域のザトウムシの分布を調査した。カプトザトウムシ、ヒメマメザトウムシなどの珍種もみられた。

キーワード：ザトウムシ, 分布, カプトザトウムシ, マメザトウムシ

## 1. はじめに

ザトウムシはメクラゲモとも呼ばれ、珠形綱に属し、真正クモに似ているが、クモとははっきり違う種類である。まず糸腺がなく、糸を出さない。腹部にも明瞭な体節がある。頭胸部と腹部が幅広く接してクモのように細くなっていない。細長い4対の脚をもっている。第2歩脚が最も長く、その先端は触覚のようなはたらきがある。頭胸部に眼を持つが、第2歩脚で前方を探りながら歩く姿からこの名がついた。土壌性のザトウムシの歩脚は比較的短い。第2歩脚の機能は同様に触覚的である。

## 2. 一字地域で確認されたザトウムシ類

調査で見られたザトウムシを以下のように報告する。種名については鶴崎 (1993) の日本野生生物目録によった。

### OPILIONES ザトウムシ目

#### Phalangodidae アカザトウムシ科

##### 1. *Epedanellus tuberculatus* Roewer

オオアカザトウムシ

九藤中, 2010, Ⅷ, 6.

落ち葉の中に生息する小型種である。赤褐色の目立つ種であるが生息数は少ない。触肢は捕獲型で爪がよく発達している (図1)。

##### 2. *Pseudobiantes japonicus* Hirst

ニホンアカザトウムシ

九藤中, 2010, Ⅶ, 30. 小島峠, 2010, Ⅸ, 25.

前種によく似た種であるが、さらに小型で体長4~5mmである。

#### Triaenonychidae ニセタテヅメザトウムシ科

##### 3. *Nippononychus japonicus* (Miyosi)

ニホンニセタテヅメザトウムシ

小島峠, 2010, Ⅶ, 11, Ⅷ, 6, Ⅸ, 25.

同じく落ち葉の中にすむ体長2~3mmの小型種である。

#### Nemastomatidae イトクチザトウムシ科

##### 4. *Dendrolasma parvulum* (Suzuki)

カプトザトウムシ

石ノ小屋 (石堂神社), 2010, Ⅷ, 1.

ザトウムシ類では珍しく少し乾燥気味の峠の近くにすむ種である。体長2mm余りの小型種で、頭胸部の眼丘から伸びる複雑な構造の角をもつ (図2)。

#### Nipponopsalididae ニホンアゴザトウムシ科

##### 5. *Nipponopsalis abei* (Sato et Suzuki)

サスマタアゴザトウムシ

小島峠, 2010, Ⅶ, 11, Ⅷ, 6, Ⅸ, 25. 九藤中, 2010, 7, 30.

体長2.5mm程度の小型種である。触手は歩脚のように鞭状であるが、鉗角は体長より大きく強大である (図3)。

#### Sabaconidae ブラシザトウムシ科

##### 6. *Sabacon pygmaeum* Miyosi

\* 名西郡石井町石井字石井105-9

コブラシザトウムシ

明谷. 2010. VII. 30. 小島峠. 2010. VIII. 9.

これも土壌性で、体長2mmのひ弱い感じの虫である。触肢は棒状でブラシのような毛をもつ。

Caddidae マメザトウムシ科

7. *Caddo pepperella* Shear ヒメマメザトウムシ  
小島峠2010. VII. 11.

珍しい種である。体長1.5mmの小型種である。眼丘が大きいのが特徴である(図4)。

Phalangiidae マザトウムシ科

8. *Oligolophus asperses* (Karsch)  
トゲザトウムシ  
小島峠. 2010. VII. 11. VIII. 6. IX. 25. 剣山(夫婦池).  
2010. VII. 31. 石堂神社. 2010. VIII. 1.

頭胸部の前縁に三つのとげがある。秋になると背甲が黒化する。

9. *Nelima nigricoxa* Sato et Suzuki  
ヒコナミザトウムシ  
小島峠2010. VII. 11. VIII. 6. 九藤中 2010. VII. 30. IX.  
25. 夫婦池2010. VII. 31. 木地屋2010. VIII. 1. 剪宇2010.  
VIII. 1.

山地でごく普通に見られる。マザトウムシ科に属するものは脚の長いものが多いが、この種は特に長い。夏までは腹面が白いが、秋になると、基節から黒くなってくる。

10. *Nelima satoi* Suzuki  
サトウザトウムシ  
小島峠. 2010. VII. 11. IX. 25. 九藤中. 2010. VIII. 6.  
前種に近い種である。湿度の高い、滝にしぶきのかかるような所にすむ。
11. *Leiobunum montanum* Suzuki  
ヤマスベザトウムシ  
小島峠 2010. VII. 11. 夫婦池2010. VII. 31.  
明るい赤褐色で、眼丘だけが黒い。
12. *Leiobunum japonicum* Muller  
モエギザトウムシ  
小島峠2010. VII. 11.  
体長は3mm程度で小さいが、脚は長く、第2歩脚は8cmを越えている。
13. *Gagrellula ferruginea* (Loman)  
アカサビザトウムシ  
出羽2010. VII. 11. 明谷2010. VII. 30. 夫婦池2010. VII. 31.  
剪宇2010. VIII. 1. 小島峠2010. VIII. 6. 法正2010. VIII. 7.  
明るい褐色である。腹部背甲に黒い帯の斑紋と鋭いとげがある。

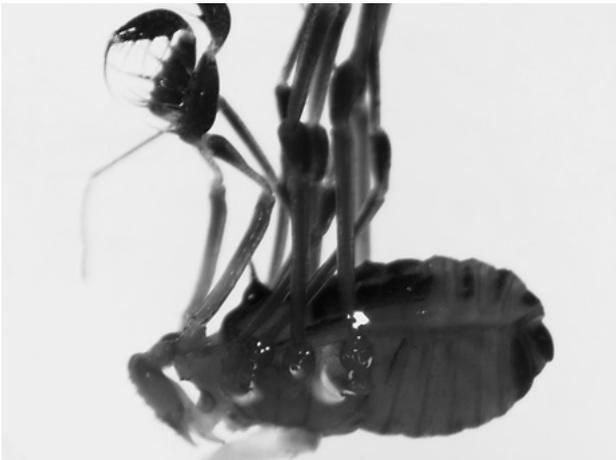


図1 オオアカザトウムシ



図3 サスマタアゴザトウムシ



図2 カブトザトウムシ



図4 ヒメマメザトウムシ

14. *Gagrellula* sp.  
クロザトウムシ  
明谷2010. VII. 30. 法正2010. VIII. 7. 九藤中2010. IX. 25.  
前種によく似るが、体長、脚長ともにやや小型である。  
全体に黒い。
15. *Systemocentrus japonicus* Hirst  
ゴホンヤリザトウムシ  
出羽2010. VII. 11. 九藤中2010. VII. 30. 剣山(スキー場)  
2010. VII. 31. 剪宇2010. VIII. 1. 小島峠2010. VIII. 6.  
腹部背面に5本の棘が並んでいるのでこの名がある。た  
だし、四国産のものは6本の棘を持つ。

### 3. 一宇地域に見られた珍種について

カブトザトウムシ(図2)は四国の愛媛県と徳島県以外には知られていない珍しい種である。1963年の石鎚山の標本で、別属として発表された。このときの標本が亜成体であったため、その後、1974年に成体をもとに再記載された。その時の標本に徳島県の国見山、高越山の標本も含まれている。

ヒメマメザトウムシ(図4)は本州、四国、九州と分布は広いが珍しい種である。県内では1962年の剣山で発見されて以来二度目の知見である。剣山の場合は朽木の隙間にかなりの個体数が見られたが、今回は1個体がいただけであった。

### 4. おわりに

今回も坂東治男氏の援助を得て調査することができた。ご厚意に感謝している。

### 文献

- Suzuki, S. 1963. *Cladolasma parvula* gen. et sp. n. (Troglidae : Opiliones) from Japan. *Annot. zool. Japan.*, 36 : 40-44.
- Suzuki, S. 1974. Redescription of *Dendrolasma parvula* (Suzuki) from Japan (Arachnida, Opiliones, Dyspnoi). *J. Sci. Hiroshima Univ.* (B-1), 25 : 121-128.
- 鶴崎展巨, 1993. 日本産野生生物目録—本邦産野生動植物の種の現状—無脊椎動物編 I. 環境庁編 : 81-83.

Opiliones of Ichiu area in Tsurugi Cho, Tokushima, Japan.  
TOMISHIMA Keiji,  
*Proceedings of Awagakkai*, No. 57 (2011), pp. 85-87.

